

令和5年度  
新入学児童・園児を交通事故から守る運動  
神奈川県実施要綱

期 間

令和5年4月5日（水）～4月11日（火）の7日間

目 的

県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、新入学児童・園児を交通事故から守り、交通ルールとマナーの基本を身につけさせることで、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン

新入学児童・園児を交通事故から守ろう

重 点

- 1 新入学児童・園児の交通事故防止
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務の周知徹底



座間市交通安全ポスターコンクール入賞作品  
座間市立栗原小学校 2年生(入賞当時) 熊倉 ひなの さん

主唱：神奈川県交通安全対策協議会

## 運動の重点

### 1 新入学児童・園児の交通事故防止

- 新入学児童・園児への交通安全指導を家庭・地域で徹底しましょう。
- 周囲の大人が、子どもの行動特性を十分理解して行動することにより、新入学児童・園児を交通事故から守りましょう。
- 通学・通園路の交通上危険な箇所を把握し、通行方法等を確認しましょう。
- 運転者は、歩行者・自転車利用者が気がつきやすいように、夕暮れ時は早めに前照灯を点灯しましょう。
- 運転者は、横断しようとしている子どもや高齢者などを見かけたら、安全に横断させましょう。

### 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- 自動車に乗車するときは、全ての座席のシートベルトやチャイルドシートの正しい着用の「ひとこえ」をかけ合しましょう。
- シートベルトやチャイルドシートの必要性について正しく理解するとともに、交通事故時の被害軽減効果の周知を図りましょう。

### 3 全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務の周知徹底

- 自転車に乗車するときは、ヘルメット着用の「ひとこえ」をかけ合しましょう。

## 運動の進め方

### ☆ 神奈川県交通安全対策協議会構成機関・団体が共通して推進する事項

- 「運動の重点」と「重点の取り組み方」に基づき今後の新型コロナウイルス感染症等の状況や、これに伴う県民の交通行動の変化等を注視しつつ、それぞれの地域等の実態に即した各種交通安全活動を積極的に推進します。
- 関係機関・団体の職員等に、この運動について周知を図ります。
- 各種会議、行事を通じて、この運動の趣旨を積極的に周知するとともに、広報紙（誌）・機関紙（誌）を発行するときは、交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかける記事等の掲載に努めます。

### ☆ 交通安全協会など交通関係団体及び地域関係団体の推進する事項

- キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- 交通指導員や各種団体構成員による街角での新入学児童・園児の交通誘導とアドバイスを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。

### ☆ 教育機関・団体の推進する事項

- 新入学児童・園児への交通安全教育の推進を図るとともに、校外指導を充実します。
- 家庭との連携を密にして、登下校時及び帰宅時の交通事故防止を図ります。

### ☆ 道路管理者・鉄道事業者等の推進する事項

- 交通安全施設の点検整備を実施するとともに道路パトロールなどを強化します。
- 道路情報板、駅広報、車内広報などを活用して、この運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

### ☆ 警察の推進する事項

- 交通事故に直結する悪質性・危険性・迷惑性の高い違反やスクールゾーン等を中心とする指導取締りを強化します。
- 新入学児童・園児を中心とした街角アドバイスを積極的に推進します。
- 関係機関・団体に交通事故分析資料等を積極的に提供するなど、地域等の実態に即した事故防止活動を推進します。
- 交通情報板などを活用して、この運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

### ☆ 県・市・区・町・村の推進する事項

- 地域の交通事故実態に即した交通安全運動の推進計画等を策定するとともに、関係機関・団体との連携を図り、運動を推進します。
- 各種メディアを活用して、運動の周知と広報啓発を推進します。
- 参加体験型の交通安全教室を開催し、効果的な交通安全教育を推進します。

# ☆ 重点の取り組み方

	新入学児童・園児の交通事故防止	全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底	全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務の周知徹底
家庭では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通ルールやマナーについて家庭で話し合い、出かけるときは交通安全の「ひとこえ」をしっかりと伝えよう。</li> <li>○ 安全な歩き方、横断の方法、自転車の安全な乗り方などの基本的な交通ルールについて、基本的な教え方を、通学・通園子どもにも事前に確認し、危険な箇所での通行方法を現場で指導し、実行させよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シートベルトやチャイルドシート着用の必要性和効果について家族で話し合い、正しい着用の実践とその習慣づけを図りましょう。</li> <li>○ 自動車で出かける家族にシートベルトやチャイルドシートの着用と安全運転の「ひとこえ」をかけましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車に乗るときは、ヘルメットの着用をしましょう。</li> <li>○ 家族が乗車用ヘルメットを装着しているか確認し、声をかけ合いましょう。</li> </ul>
職場では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社内での広報媒体を活用して、交通安全事故から守る意識を高めよう。</li> <li>○ 朝礼や会議などのあらゆる機会を活用して、「思いやりの運転」を心がけるよう指導しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職場で開催する交通安全研修会や各種行事等の機会をとらえ、着用効果事例の紹介等により、シートベルトやチャイルドシートの必要性について啓発に努め、職場全体で着用の推進を図りましょう。</li> <li>○ 出勤、退社時にシートベルト着用状況を確認するなど、着用の徹底について指導しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通勤や事業で自転車を利用する場合、乗車用ヘルメットを着用しましょう。</li> </ul>
学校・地域では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大人は交通ルールの遵守や正しい交通マナーの手本を示しましょう。</li> <li>○ 危険な横断などを見かけたら思いやりの気持ちをもって声をかけたり、手をさしのべましょう。</li> <li>○ 保護者や学校・幼稚園等が連携し、登下校時の街頭指導を強化しましょう。</li> <li>○ 「みんなの交通安全教育推進運動『スタートかながわ』」の理念を踏まえ、関係機関・団体と連携して、事例等を活用し、効果的な交通安全指導を実施しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シートベルトやチャイルドシート着用を地域ぐるみで実践するため、自治会、町内会、PTAなど各種団体・組織が相互に連携し、積極的な運動を推進しましょう。</li> <li>○ 交通安全研修会などではシートベルト着用体験車などを活用し、シートベルトやチャイルドシート着用の徹底を呼びかけましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通勤や通学で自転車を利用する場合、乗車用ヘルメットを着用しましょう。</li> </ul>
運転者では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校や公園等の周辺を走行するときは、飛び出しなどの子どもたちの特性を考慮し、徐行運転に努めましょう。</li> <li>○ 歩行者、自転車乗用者を見かけたら、徐行や一時停止するなど、「思いやりのある」運転を実践しましょう。</li> <li>○ 歩行者・自転車乗用者が気づきやすいように、夕暮れ時は早めに前照灯を点灯しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シートベルト着用の必要性和効果を認識し、正しい着用を習慣づけましょう。</li> <li>○ 子どもを同乗させるときは、体格に合ったチャイルドシートを正しく着用する習慣をつけましょう。</li> <li>○ 妊娠中であっても、母体と胎児を守るため必ず医師に確認したうえで、適切にシートベルトを着用するようにしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車に乗るときは、乗車用ヘルメットを着用しましょう。</li> </ul>

<交通安全スローガン>

**通学路 速度を落とす 思いやり**  
**しんごうが まばたきはじめた はい！とまれ！**

(令和4年度 (一財)全日本交通安全協会 入選作品)

<b>シートベルトの日</b>	<b>4月10日</b>	交通死亡事故の抑止に効果的なシートベルトの着用について、県民が一体となり強力に推進します。
-----------------	--------------	---

- 毎月
- 「1日」は 県民交通安全の日
  - 「5日」は チリリン・デー
  - 「15日」は 高齢者交通安全の日
  - 「30日」は ゾーン30の日

## ★ 子どもの交通事故発生状況

○年別推移（子どもの交通事故：中学生以下の子どもが関係した事故と子どもの死傷者数）

項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
発生件数	1,767	1,430	1,521	1,457
死傷者数	1,928	1,539	1,622	1,541

○幼稚園と小学生の学年・状態別の死傷者数（令和4年中）

項目	幼児	園児	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
歩行中	26	50	67	72	59	32	32	29	367
自転車乗用中	30	63	39	65	66	62	68	71	464
その他	98	81	28	36	26	33	21	27	350
計	154	194	134	173	151	127	121	127	1,181

○幼稚園と小学生の状態別・原因別の死傷者数（令和4年中）  
（歩行中）

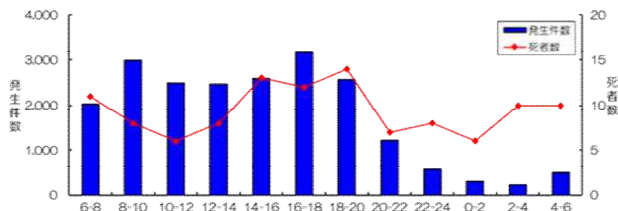
原因	死者数	構成率	負傷者数	構成率
飛び出し	0	0.0%	125	34.2%
車の直前直後横断	0	0.0%	6	1.6%
横断歩道外横断	0	0.0%	24	6.6%
ひとり歩き	0	0.0%	4	1.1%
その他の違反	0	0.0%	35	9.6%
違反なし	2	100.0%	171	46.8%
計	2	100.0%	365	100.0%

（自転車乗用中）

原因	死者数	構成率	負傷者数	構成率
安全不確認	0	0.0%	28	6.0%
一時不停止等	0	0.0%	52	11.2%
信号無視	0	0.0%	2	0.4%
その他の違反	1	100.0%	191	41.3%
違反なし	0	0.0%	190	41.0%
計	1	100.0%	463	100.0%

## ～夕暮れ時の前照灯早目点灯 事故防止！～ 日没1時間前には点灯しましょう

<令和4年 時間別発生状況>（県警察本部資料）



- 夕暮れ時は人身交通事故の多発する時間帯です。
- 前照灯を点灯することにより、周囲から自分の存在を早めに気づいてもらえます。
- 前照灯のスイッチを入れることにより、交通安全意識が高まります。

時間帯	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	0-2	2-4	4-6
発生件数	2,029	2,992	2,485	2,470	2,594	3,165	2,570	1,213	566	306	221	487
死者数	11	8	6	8	13	12	14	7	8	6	10	10



神奈川県交通安全シンボルマーク

神奈川県交通安全対策協議会  
神奈川県・市区町村・神奈川県警察  
事務局 神奈川県 暮らし安全交通課